

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがお浪速区店		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	風通しの良い職場で、意見を出し合える環境。	小さなことでも共有して、意見を募っている。	今後も、密に連携を深め支援にあたっていく。
2	保護者を巻き込んだイベントの開催。	今年度から取り組んだイベント。保護者同士の関わりを増やすことを意識的に行った。	親子交流会の内容の充実。保護者向けの勉強会等の開催等。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材不足。	処遇面あるいは、求人の内容。	魅力ある事業所作り。給与面等の処遇の改善。
2	法定研修等の理解度の向上。	知識、経験不足。	社外講師の招聘。あるいは、外部研修を受講し、事業所に落とし込む工夫が必要。
3	支援内容の充実度。	日々の業務に追われることで、より良い支援を送るための工夫がなされない場合がある。	余裕のある人員配置をとり、研修参加の機会を増やす。職員のスキルアップを図る。